患者様パスシート

ネフローゼ症候群（再発）の治療を受けられる　パス　テスト００１　様へ

カナ氏名　パス　テスト001
患者ID　0008985093
担当医　　印
適用開始日
適用予定日数　7日
パス名　ネフローゼ症候群再発20kg(Alb<2.0g/dl)
コメント

年　月　日 患者又は代理者同意サイン　（　　）

ベッドネームに(同意する・同意しない)　部屋ネームに(同意する・同意しない)
入院薬剤管理指導業務(服薬指導等)を依頼(する・しない)
特別な栄養管理の必要性(　あり・なし　)

予定は病状により変更される場合があります

〒409-3898　山梨県中央市下河東1110番地
山梨大学医学部附属病院小児科　TEL:055-273-1111

H24年5月改訂

病名		症状:				
	入院当日	ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ治療開始日	尿蛋白陰性化まで	寛解期	ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ減量期	退院予定日
	早朝尿にて尿蛋白(3+)が3日間連続してから治療開始となります		1週間から2週間くらい	早朝尿蛋白が(－)になります	尿蛋白が(-)になって3日	ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ減量中
月日	月　日（　）	月　日（　）	月　日（　）	月　日（　）	月　日（　）	月　日（　）
注射	むくみの強い場合は 点滴をして利尿剤や ｱﾙﾌﾞﾐﾝ投与を行う 場合があります		点滴していたお子様は むくみが改善し 尿量が増えれば 点滴を中止します			数日前に退院予定日をお知らせします　事前に精算を済ませることもできます 次回外来予約はこちらで行いお知らせします
内服	再発確定後、ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ内服（粉薬 or 錠剤）を開始します。 投与量は１日に体重(kg)×２mgで１日３回に分けて飲みます　錠剤の内服できるお子様には１錠５mgの錠剤の方が内服し易いと思います			蛋白陰性化して3日たてば、減量になります。	ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝを減量します　体重(kg)×1.3mgを１日おきに朝１回だけ飲みます	退院処方(ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ)があります。減量開始後計４週間内服します 内服の方法は退院前と同様です
診察	主治医の診察は毎日(月から金)あります　。毎日、数回検温があります		毎週月曜日の午後に教授回診があります			
説明	主治医より入院時の病状について説明があります 看護師から入院生活や病棟規則について説明があります		入院中、適宜病状その他についてご説明しますが、ご不明の点はいつでもお尋ねください 薬剤師より使用しているお薬について説明があります			退院時説明があります
検査	入院時検査 1)血液検査、尿検査 その他、必要に応じて 胸部レントゲンなどが 行われます	入院後検査（毎日尿をためてください） 1)尿検査（連日早朝尿、蓄尿蛋白定量） 2)血液検査（週1-3回程度：重症度による） 3)便潜血検査（週１回程度） 4)眼科検診（退院前に１度）		注)早朝尿は毎朝第１尿を提出してください　乳幼児の場合、採尿ﾊﾟｯｸも使用できます ためた尿の検査は、早朝尿での尿蛋白が(－)になれば中止します 便潜血検査、眼科検診はﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ副作用ﾁｪｯｸのために行います		薬剤内服中は1-6週間に１回、小児科外来を受診していただきます 毎回受診時には早朝尿を提出してください
食事	寛解するまでは、減塩食5(浮腫期) -7gになります。					退院後の食事制限はありません
清潔	点滴をしていないお子様は入浴（シャワー）していただけます 点滴をしている間は、１日１回および必要時に身体を蒸しタオルで拭きます。但し、水分・食事が充分取れれば、シャワー可です。					退院後の入浴は自由です
活動	トイレ歩行可　　プレールーム（　　）	ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ初期内服中（１日３回）は感染に対する抵抗力が落ちているため 手洗いうがいをしてください 廊下に出る場合は看護師に申し出た上でマスクを着用してください			プレイルームで遊べます（マスク着用）	保育園、幼稚園、学校等は可です。
備考	トイレ、洗面は可です		蛋白尿が続いている間は、連日尿をためていただきます 中止になればメモ尿測に変更します １日2回血圧を測ります　毎日体重を測ります			退院後、生活制限はありません。
学習			帰宅してからのことについて勉強します。		退院のためのチェックがあります	